

V-Safe 100
(AES 暗号化機能付)
ユーザーマニュアル

目次

目次.....	2
1. はじめに.....	3
2. 必要システム.....	3
2.1 必要環境.....	3
2.2 推奨.....	3
3. 使ってみましょう.....	4
3.1 プライバシー・ゾーンの作り方.....	4
3.2 プライバシー・ゾーンを使う.....	6
3.2.1 プライバシー・ゾーンにログインする.....	6
3.2.2 プライバシー・ゾーンのファイルを扱う.....	8
3.2.3 プライバシー・ゾーンを設定したUSBフラッシュメモリーを接続する.....	8
3.2.4 プライバシー・ゾーンからのログアウト方法.....	10
4. 設定の変更.....	11
4.1 パスワードの変更.....	12
4.1.1 パスワード変更ボタンを使用してパスワードを変更する.....	12
4.1.2 パスワード変更ボタンを使用しないでパスワードを変更する.....	13
4.2 プライバシー・ゾーンの容量を変更する.....	13
4.2.1 プライバシー・ゾーンの容量変更方法.....	13
4.2.2 プライバシー・ゾーンの消去方法.....	13
5. よくある質問と回答.....	15
お問い合わせ窓口.....	16

1. はじめに

V-Safe100(AES 暗号化機能付：以下「V-Safe 100」) は、USB フラッシュメモリ Store 'n' Go 内のプライバシー・ゾーンに保存されたデータを AES により暗号化しパスワードで保護する領域を設定するためのツールです。V-Safe 100 とパスワードを利用してプライバシー・ゾーンを設定することで、大切なデータを見られないようにパスワードで保護することができます。

ハイスピードな USB2.0 を利用することで、より高速に簡単にデータにアクセスすることができます。



設定したパスワードは、忘れてたり他人に知られたりしないよう、お客様ご自身で厳重に保管ください。



パスワード入力を 6 回間違えるとプライバシー・ゾーンに保存されたデータは読み出せなくなり、復元することもできません。



V-Safe 100 はソフトウェアです。ご使用になる前に、必ず他の媒体にバックアップをお取りください。

2. 必要システム

2.1 必要環境

- ・ Pentium II 266MHz 以上
- ・ 1.5MB 以上の空き容量 (ハードディスクドライブ)
- ・ OS Windows 7/Vista/XP/2000
※Windows 98/98SE/Me ではご使用になれません。
- ・ パソコンのシステムドライブ (通常は [C:]) へのアクセス

2.2 推奨

- ・ 24bit カラーをサポートするグラフィックカード

3. 使ってみましょう



プライバシー・ゾーンを作成するとき、Store 'n' Go USB は初期化されます。保存されていたパブリック・ゾーンを含むすべてのデータが読み出せなくなります。

必ず、プライバシー・ゾーンを作成する前に、必要なデータをバックアップしてください。

3.1 プライバシー・ゾーンの作り方

1. マイコンピュータから、Verbatim (Store 'n' Go) として割り当てられたリムーバブルディスクアイコンを開き、その中の“V-Safe100.exe”を実行してください。
2. 使用する言語を選択する画面が開きますので、ご希望の言語を選択して OK ボタンを押してください（以降は、日本語を選択した場合について説明しています）。
3. V-Safe100 へようこそ画面をお読みにになり、OK ボタンを押してください（図 1）。

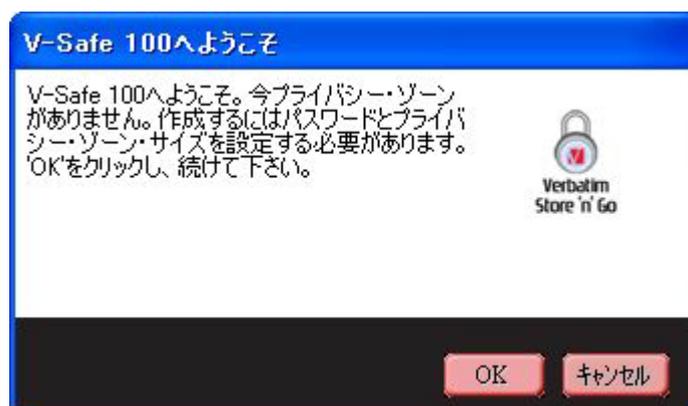


図 1 : V-Safe 100 ようこそ画面

4. V-Safe 100 初期化画面が表示されたら (図 2)、以下の項目に入力してください。
 - a. パスワード (必須)
 - b. パスワードの確認入力 (必須)
 - c. パスワードを忘れた際のヒント (省略可)

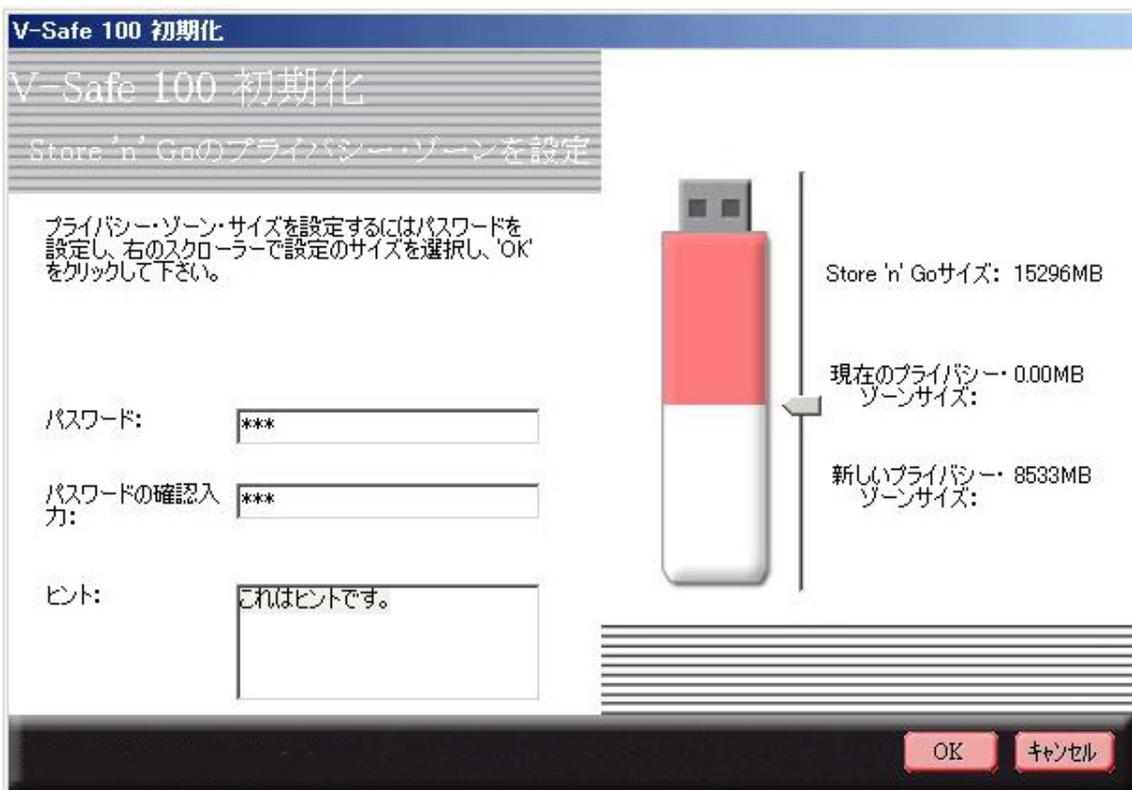


図 2 : V-Safe 100 初期化画面

5. Store 'n' Go の絵にあるスライダーを上下に動かして、プライバシー・ゾーンにする容量を選択します。完了したら、OK ボタンを押します。

プライバシー・ゾーンに設定できる容量には制限があります。V-Safe 100 のアプリケーションやアップグレードに備え、最低限の容量が確保されます。
6. 初期化警告画面が表示されます (図 3)。先に進む場合は、OK ボタンをクリックします。

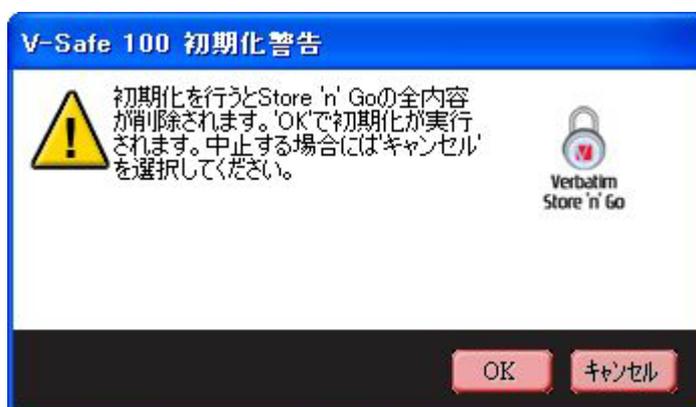


図 3 : V-Safe 100 初期化警告画面

7. 初期化が始まり、V-Safe 100 初期化画面のバーが進行状況を表示します（図 4）。

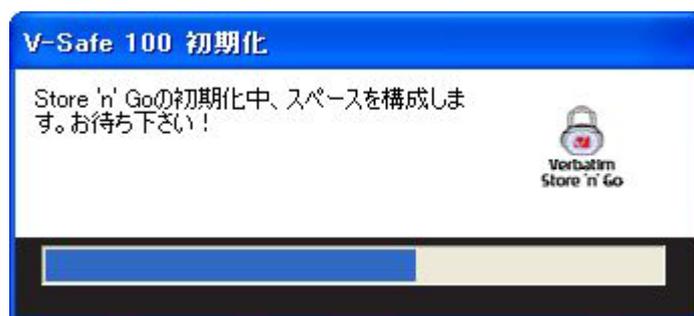


図 4：進行状況表示画面

初期化が終了すると、成功をお知らせする画面が表示されます（図 5）。OK ボタンをクリックすると、Store 'n' Go のプライバシー・ゾーンにログインします。



図 5：初期化完了画面

3.2 プライバシー・ゾーンを使う

3.2.1 プライバシー・ゾーンにログインする

1. プライバシー・ゾーンを作成すると、自動的にログイン画面が表示されます。または、デスクトップの V-Safe 100 アイコンをダブルクリックすると、ログイン画面が表示されます（図 6）。



図 6：V-Safe 100 ログイン画面

2. プライバシー・ゾーンにログインするには、設定したパスワードを入力し OK ボタンを押します。間違ったパスワードを入力すると、エラーメッセージが表示されます（図 7）。

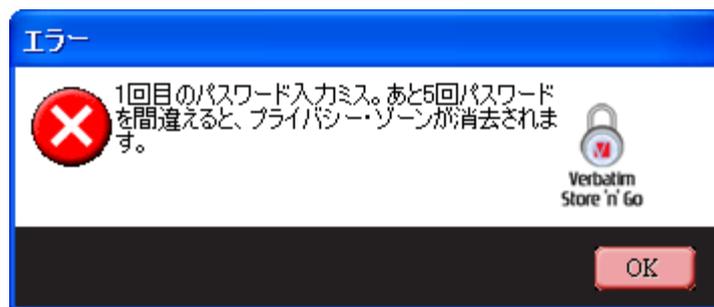
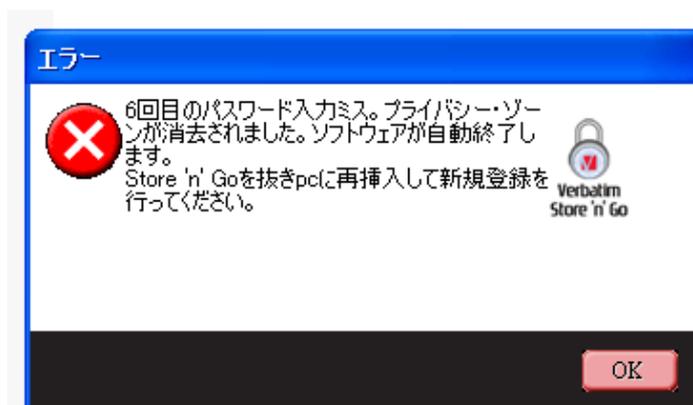


図 7：V-Safe 100 エラーメッセージ



パスワードを 6 回続けて間違えると、次のメッセージが表示されてプライバシー・ゾーンのデータは読み出せなくなります。



再度使用する場合は「3.1 プライバシー・ゾーンの作り方」を参照して、初期化を行ってください。

パスワードを忘れた場合は、ヒントボタンをクリックすると、設定したヒントがログイン画面に表示されます（図 8）。



図 8：パスワードヒント画面

3. ログインが成功すると、確認画面が表示されます（図9）。

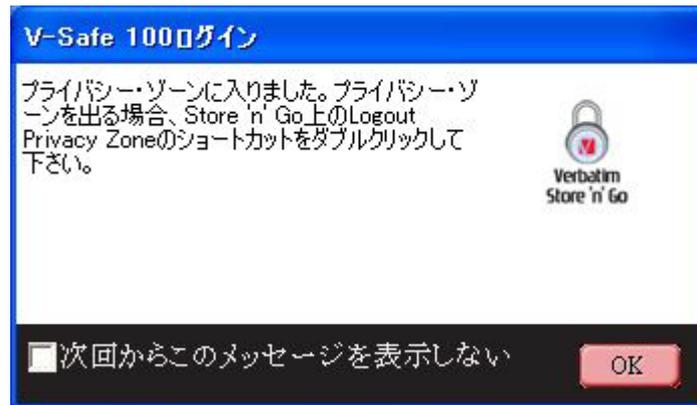


図9：ログイン成功画面

3.2.2 プライバシー・ゾーンのファイルを扱う

プライバシー・ゾーンへのログインが終了すると、プライバシー・ゾーン内のすべてのファイルを使用することができます。

プライバシー・ゾーンで開いたり保存したりしたファイルは、プライバシー・ゾーンをログアウトするまで保護されます。

3.2.3 プライバシー・ゾーンを設定した USB フラッシュメモリーを接続する

1. プライバシー・ゾーンを設定した USB フラッシュメモリーを接続して、マイコンピュータから、接続した USB フラッシュメモリーのリムーバブルディスクアイコンを開きます（図10）。

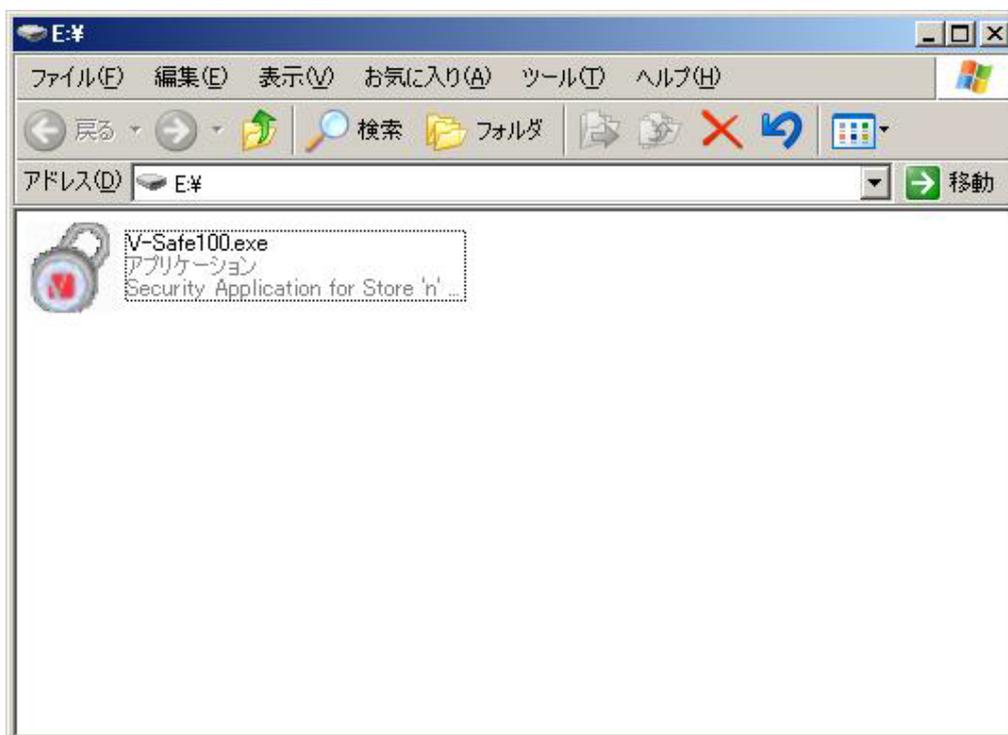


図10：パブリック・ゾーン

2. 使用する言語を選択する画面が開いた場合は、ご希望の言語を選択して OK ボタンを押します (図 11)。



図 11：言語選択画面

3. ログイン画面が表示されます (図 12)。



図 12：V-Safe 100 ログイン画面

4. プライバシー・ゾーンにログインするには、設定したパスワードを入力し OK ボタンを押します。ログインが成功すると、確認画面が表示されます (図 13)。

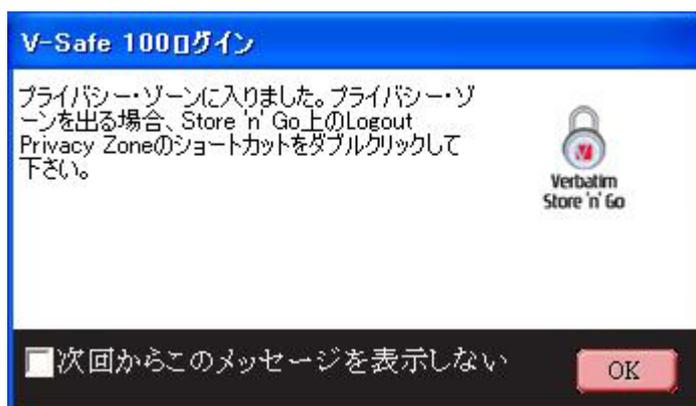


図 13：ログイン成功画面

3.2.4 プライバシー・ゾーンからのログアウト方法

プライバシー・ゾーンで作業中のファイルがあるときにシステムをログアウト、シャットダウン、または再起動する場合、それらのファイルは保存されません。システムをログアウトやシャットダウンする前には、すべてのファイルを閉じてから行うことをおすすめします。

■プライバシー・ゾーンからのログアウト方法

1. Store 'n' Go から開いたファイルをすべて保存もしくは閉じてください。
2. プライバシー・ゾーン内にログイン中は、“Logout Privacy Zone” アイコンをダブルクリックします（図 14）。

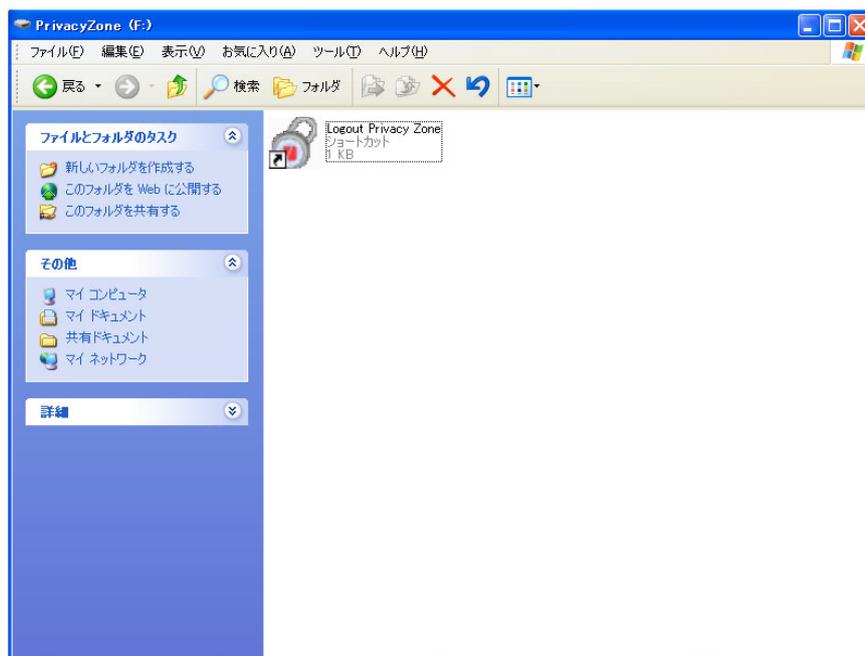


図 14：プライバシー・ゾーン

3. ログアウトを確認するウィンドウが表示されます（図 15）。OK ボタンをクリックしてプライバシー・ゾーンからログアウトします。



図 15：ログアウト確認画面

4. 設定の変更

1. V-Safe 100 の設定を変更するには、ログイン画面のセットアップボタンをクリックしてください (図 16)。



図 16 : ログイン画面

2. V-Safe 100 設定画面が表示されます。

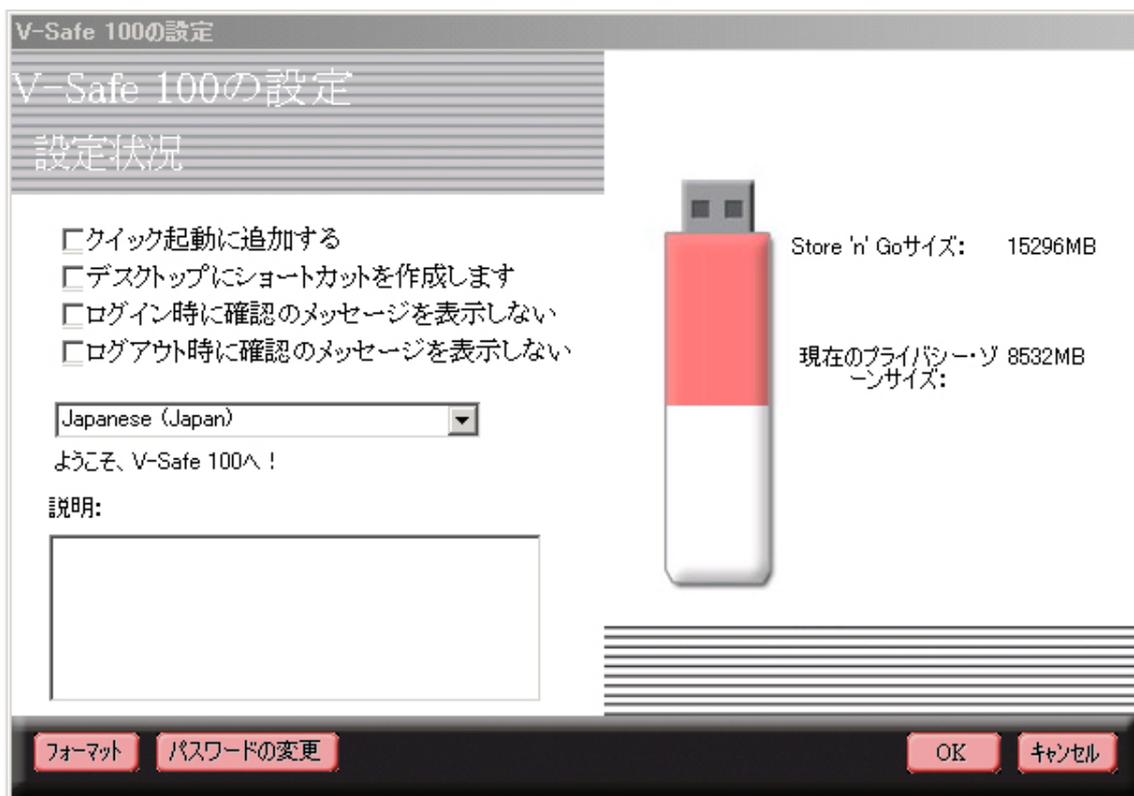


図 17 : V-Safe 100 設定画面

4.1 パスワードの変更

4.1.1 パスワード変更ボタンを使用してパスワードを変更する

1. V-Safe 100 設定画面のパスワード変更ボタンをクリックします (図 17)。
2. パスワード変更画面が表示されたら (図 18)、以前のパスワードと新しいパスワード、確認のために新しいパスワードをもう一度入力します。パスワードを忘れたときのために、ヒントを入力することをおすすめします。

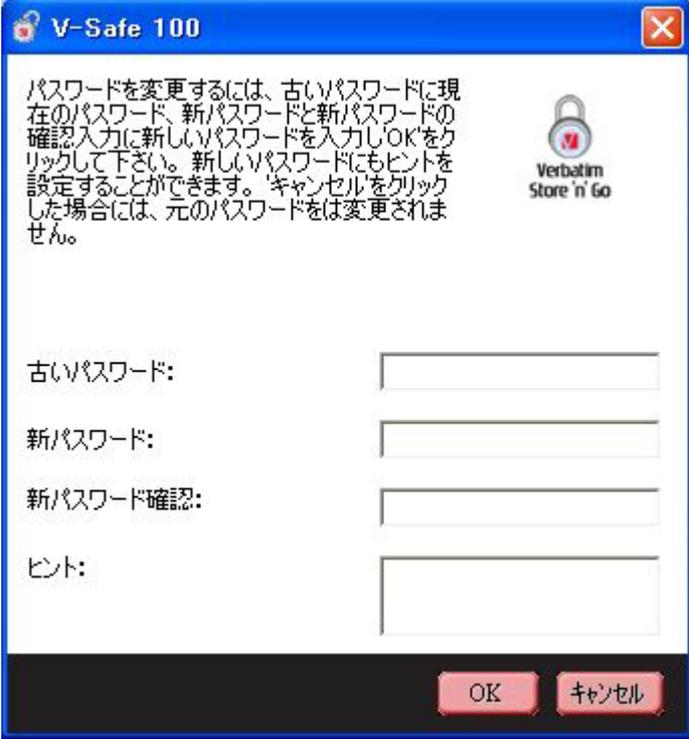


図 18 : パスワード変更画面

3. OK ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます (図 19)。

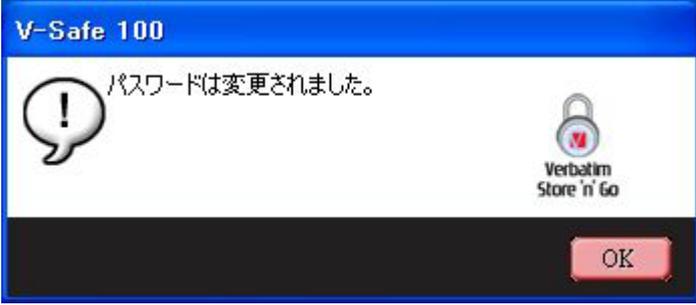


図 19 : パスワード変更確認画面

4.1.2 パスワード変更ボタンを使用しないでパスワードを変更する

パスワード変更ボタンがV-Safe 100 設定画面に表示されない場合は、プライバシー・ゾーンをフォーマットすることでパスワードを変更することができます。パスワードについての詳細は、「3.1 プライバシー・ゾーンの作り方 4 項」(P.5) をご参照ください。



パスワード変更ボタンを利用しないでパスワードを変更する場合、Store 'n' Go はフォーマットされ、パブリック・ゾーンを含むすべてのデータが読み出せなくなります。

4.2 プライバシー・ゾーンの容量を変更する



プライバシー・ゾーンの容量の変更は Store 'n' Go のフォーマットを伴うため、パブリック・ゾーンを含む保存されているすべてのデータが読み出せなくなります。

4.2.1 プライバシー・ゾーンの容量変更方法

1. V-Safe 100 設定画面のフォーマットボタンをクリックします。5 ページの図 2 のように、初期化画面が表示されます。
2. パスワードと確認用のパスワードを入力します。
3. パスワードを忘れたときのために、ヒントを入力することをおすすめします。
4. スライダーを利用して、新しいプライバシー・ゾーンの容量を設定します。
5. OK ボタンをクリックすると 5 ページの図 3 のように初期化警告画面が表示されます。
6. OK ボタンを押すと、Store 'n' Go は再フォーマットされ、新しいプライバシー・ゾーンが設定されます。

4.2.2 プライバシー・ゾーンの消去方法

1. V-Safe 100 設定画面のフォーマットボタンをクリックします。5 ページの図 2 のように、初期化画面が表示されます。
2. スライダーを使って、プライバシー・ゾーンの容量を 0% にします。
3. OK ボタンを押すと、プライバシー・ゾーンが無いことを示す警告メッセージが表示されます (図 20)。

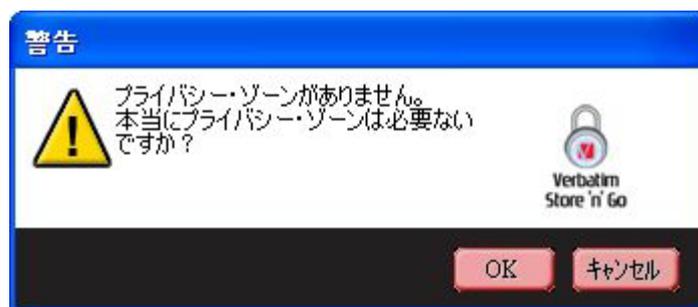


図 20：警告画面

4. OK ボタンを押すと、5 ページの図 3 のように、V-Safe 100 の初期化警告画面が表示されます。
5. 初期化が始まり、6 ページの図 4 のように V-Safe 100 初期化画面のバーが進行状況を表示します。初期化が終了すると、成功をお知らせする画面が表示されます。OK をクリックすると、終了します。

5. よくある質問と回答

Q： 使用している V-Safe 100 のバージョンはどのように確認するのですか？

A： 簡単な方法では、Store 'n' Go の中の V-Safe 100 アイコンを右クリックして、プロパティからバージョンを選択すれば確認できます。

Q： 現在プライバシー・ゾーン内なのかパブリック・ゾーン内なのかを確認するにはどうすればいいのですか？

A： Store 'n' Go のルートフォルダに、“Logout Privacy Zone” アイコンがあれば、現在プライバシー・ゾーン内であることを示します。そうでない場合は、パブリック・ゾーン内であることを示します。

Q： どのようにプライバシー・ゾーンとパブリック・ゾーンを切り替えるのですか？

A： V-Safe 100 を起動します。パスワードの入力画面が表示された場合は、現在パブリック・ゾーン内であることを示します。プライバシー・ゾーンに切り替えるには、パスワードを入力して OK ボタンをクリックします。ログアウトするか確認するポップアップウィンドウが表示された場合には、現在プライバシー・ゾーン内であることを示しています。パブリック・ゾーンに切り替えるには、OK をクリックします。そのままプライバシー・ゾーンで作業するには、キャンセルボタンをクリックします。

Q： 間違えて Store 'n' Go から V-Safe 100 を削除してしまった場合には、どのようにしてプライバシー・ゾーンにアクセスするのですか？

A： デスクトップなどに保存してある“VSafe100.exe”を Store 'n' Go にコピーして、Store 'n' Go 内からそれをクリックすれば、設定してあるパスワードでプライバシー・ゾーンにログインすることができます。V-Safe 100 は、必ずバックアップを取ってから Store 'n' Go をご利用ください。もし V-Safe 100 を削除してしまった場合には、弊社ホームページ (<http://www.verbatim.jp/download/>) にてダウンロードしていただくことが可能です。

Q： 2 つ以上の V-Safe 100 を同時に使用することはできますか？

A： できません。

Q： V-Safe 100 でのフォーマットに失敗した場合、パブリック・ゾーンとプライバシー・ゾーンの両方をフォーマットする方法はありますか？

A： あります。OS に搭載されているフォーマット機能を利用することができます。その後、V-Safe 100 を Store 'n' Go にコピーして利用すれば、プライバシー・ゾーンの利用もできます。

お問い合わせ窓口

三菱化学メディア株式会社 カスタマーサービス室

フリーダイヤル：0120-34-4160 月～金 10:00～12:00、13:00～17:00（当社休業日を除く）
（携帯電話からのご利用になれます）

ホームページ：<http://www.verbatim.jp/support/contact.html>

V-Safe100 ソフトウェアのダウンロード：<http://www.verbatim.jp/download/>